

本省道路局 同時発表

平成29年12月8日
九州地方整備局**訪日外国人レンタカーピンポイント事故対策に着手！
～福岡空港を中心とする地域で社会実験を実施～**

訪日外国人観光客レンタカー利用者を対象としたピンポイント事故対策の社会実験を、福岡空港を中心とする地域において12月13日(水)から開始します。

- 国土交通省では、外国人によるレンタカー利用の多い空港を中心とする地域において、急増する訪日外国人観光客のレンタカー利用による事故を防止するため、ETC2.0等の急ブレーキデータを活用して事故危険箇所を特定し、ピンポイント事故対策を講じることとしています。
- 九州地方整備局では、地域道路経済戦略研究会 九州地方研究会において、福岡空港周辺のレンタカー事業者と連携し、これまでに取得した外国人が利用するレンタカーの移動データ（ドライブレコーダーデータ）から、外国人特有と想定される事故危険箇所を特定しました。
- このことから、以下の通り、ピンポイント事故対策実験を実施します。

実施期間：平成29年12月13日～平成30年1月31日

実施路線：大分自動車道

実施内容

- ・急ブレーキが多発する日田IC～天瀬高塚IC区間や玖珠SA入り口部において、多言語の簡易情報板による注意喚起を実施します。
- ・速度超過が発生している筑後小郡IC～朝倉ICにおいて、発話型情報提供端末による注意喚起を実施します。
- ・経路上の危険箇所等を示した注意喚起パンフレットを作成し、レンタカー貸し出し時に配布するとともに、外国人の立寄りの多い山田SAと玖珠SAに設置します。

【問合せ先】九州地方整備局 道路部 道路計画第二課長 松元 勝美
課長補佐 佐伯 康夫

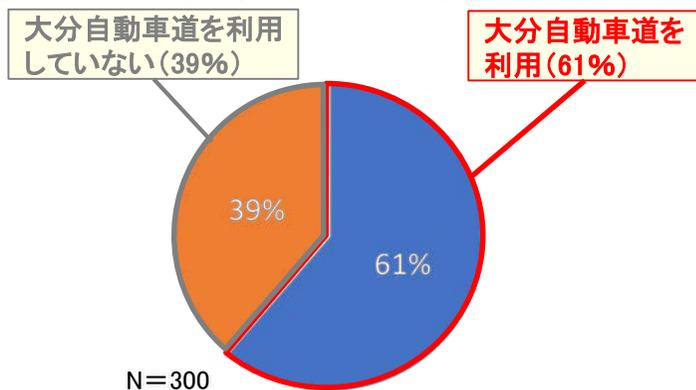
TEL：092-471-6331（代表） FAX：092-476-3518

別紙1 福岡空港周辺からの訪日外国人のレンタカーによる周遊動向

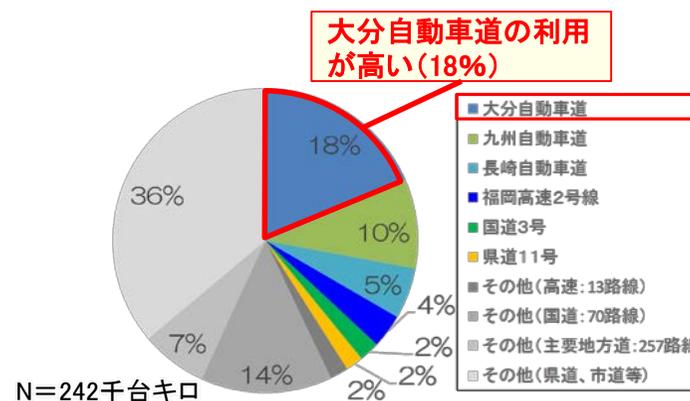
■ 福岡空港周辺を発着とした外国人レンタカー利用者のうち、約6割が大分自動車道を利用し、湯布院・別府方面を周遊。路線別走行延長でも約2割が大分自動車道で占める。大分自動車道を走行する外国人レンタカー利用者の急ブレーキ発生頻度は日本人の約2倍。

⇒ 福岡空港周辺からレンタカーで周遊する訪日外国人が多く、急ブレーキの頻度に差がある大分自動車道を対象として詳細に分析。

【外国人レンタカー利用者の大分自動車道利用割合】



【外国人レンタカー利用者の路線別走行延長割合】

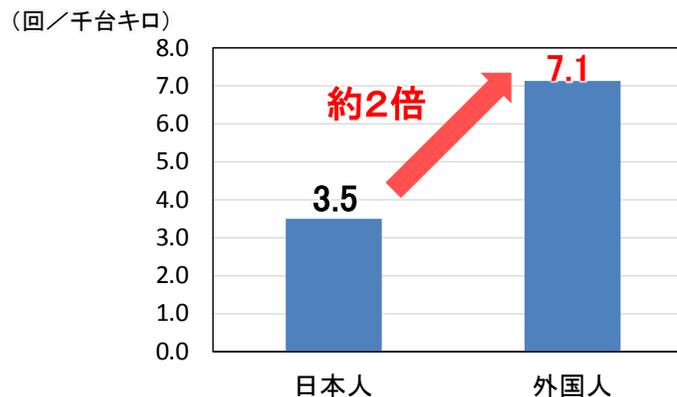


【外国人レンタカー利用者の周遊経路(福岡空港～大分自動車道)】



※この地図は、国土地理院地図を加工して作成

【大分自動車道における急ブレーキ回数(回/千台キロ)】



別紙1 大分自動車道における外国人特有の危険箇所(急ブレーキ)

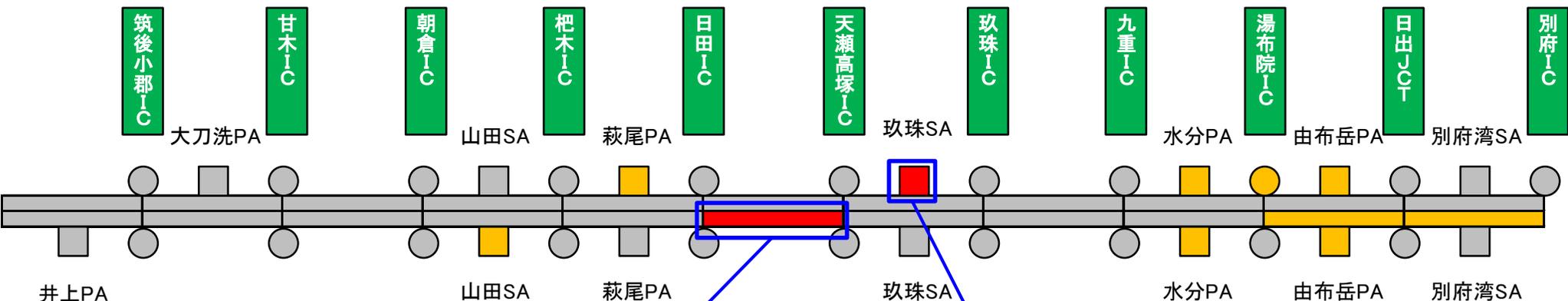
■ 大分自動車道で、急ブレーキが発生している箇所をドライブレコーダーのGPS情報から抽出。

日田IC^{ひた}～天瀬高塚IC^{あまがせたかつか}の下り勾配区間や、玖珠SA^{くす}入口部において急ブレーキ多発を確認。

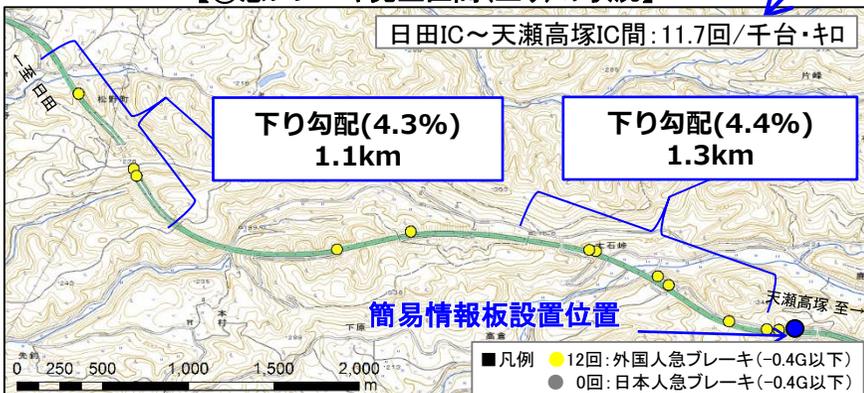
⇒ 急ブレーキの要因を踏まえ、ピンポイント対策(簡易情報板)を立案。

■ 凡例
 ■ : 外国人の急ブレーキが多い区間
 ■ : うち急ブレーキ回数が最も多い区間

【大分自動車道における危険箇所抽出結果(急ブレーキ)】

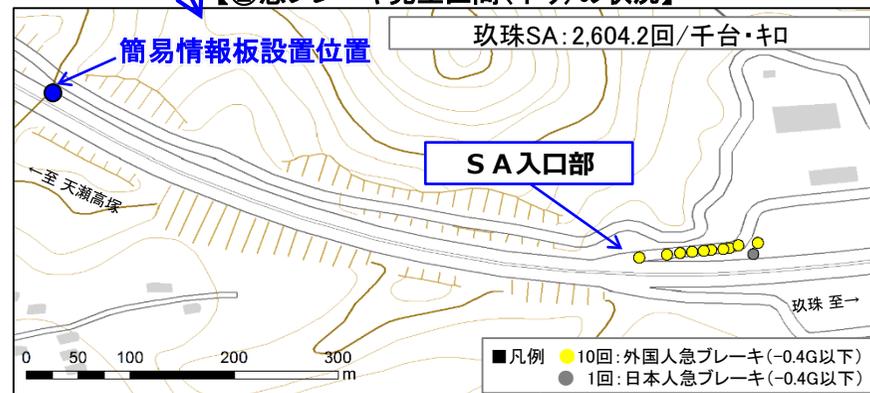


【①急ブレーキ発生区間(上り)の状況】



【状況】: 日田IC～天瀬高塚IC間(13.4km)の急ブレーキ全13回のうち、12回が下り勾配が続くカーブ区間(約5km)に集中。(日本人は0回)
 【要因】: 下り勾配を示す多言語標記の警戒標識がなく、下り勾配が続くカーブ区間に十分減速しないまま進入して発生していると考えられる。

【②急ブレーキ発生区間(下り)の状況】



【状況】: 玖珠SA入口部に10回の急ブレーキが集中。(日本人は1回)
 【要因】: 多言語標記の玖珠SA案内標識がなく、SA入口部手前の見通しの悪い左カーブ区間に十分減速しないまま進入して発生していると考えられる。

※この地図は、国土地理院地図を加工して作成

※この地図は、国土地理院地図を加工して作成

別紙1 大分自動車道における外国人特有の危険箇所(速度超過)

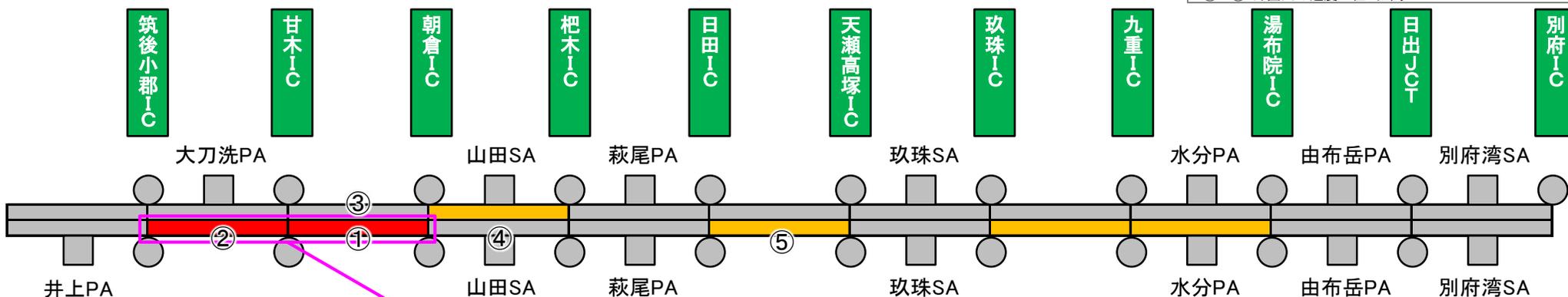
■ 大分自動車道で、速度超過が発生している箇所をドライブレコーダーのGPS情報から抽出。

ちくごおごり 筑後小郡IC ~ あさくら 朝倉ICにおいて速度が高いことを確認。

⇒ 速度超過の要因を踏まえ、ピンポイント対策(発話型情報提供端末)を立案。

【大分自動車道における危険箇所抽出結果(速度超過)】

■ 凡例
 ■ 黄色 : 外国人の速度が日本人と比較して5km/h以上の区間
 ■ 赤色 : うち外国人の速度が高い区間
 ①~⑤: 外国人の速度上位5区間



【速度超過発生区間(上り)の状況】

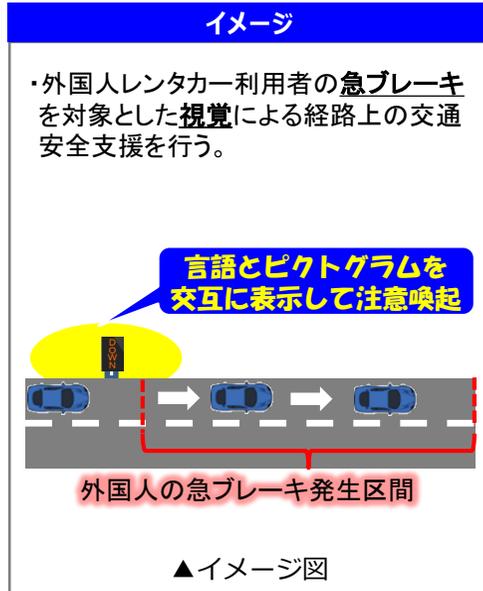
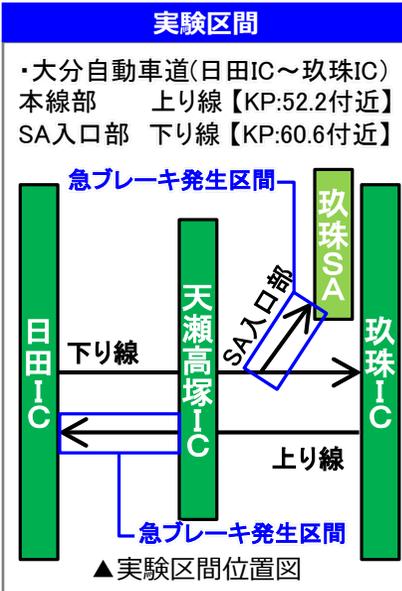


【状況】: 平坦部で見通しの良い直線区間において速度超過が発生
 【要因】: 外国人向けの規制速度標示がなく、線形の悪い山間部を抜けた直線区間のため速度超過していると考えられる。

※この地図は、国土地理院地図を加工して作成

別紙1 ピンポイント対策案

■簡易情報板[視覚] 外国人の急ブレーキ発生区間



情報提供内容

位置	急ブレーキ要因	提供内容	表示内容	
			韓国語	中国語
本線部上り線	下り勾配	下り坂(4.4%)速度落とせ	ピクトグラム+ 절대 감속	ピクトグラム+ 減速慢行
SA入口部下り線	カーブ区間	この先SA入口注意	ピクトグラム+ 입구주의	ピクトグラム+ 入門注意

秒間隔で切替

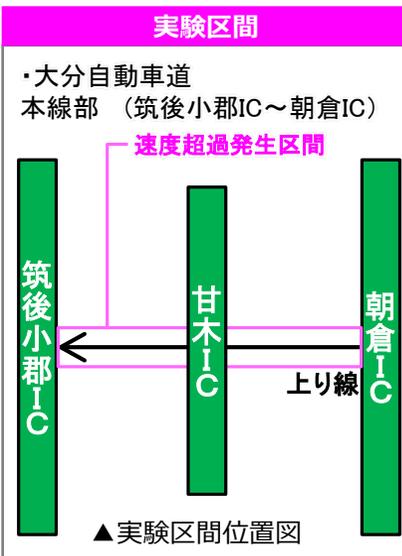
秒間隔で切替

下り坂(4.4%)速度落とせ

この先SA入口注意

▲簡易情報板表示内容

■発話型情報提供端末[聴覚] 外国人の速度超過発生区間



情報提供内容

【発話内容】
制限速度に注意して走行してください。
(利用者の母国語に合わせて韓国語、中国語で音声案内)

発話型情報提供端末(多言語対応)の仕組み

- ①速度検出
スマートフォンのGPS機能(位置情報)を用いて走行速度を検知。
- ②速度超過判定
検知した速度と制限速度を比較。
- ③音声発話
速度超過したら登録音声を発話。

車載器(スマホ)

別紙2 周辺の休憩施設における周知

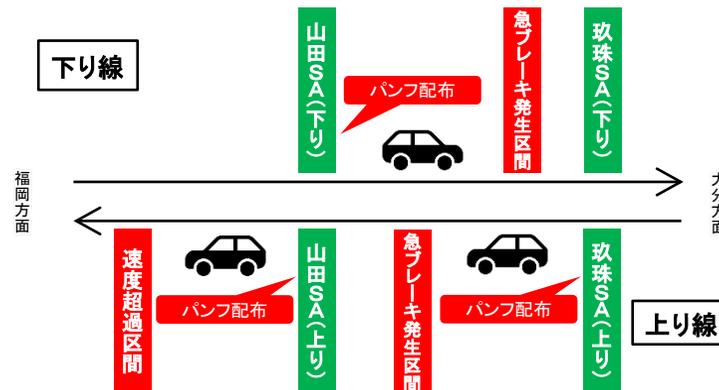
- 外国人レンタカー利用者は、大分自動車道の休憩施設として、主に山田SAと玖珠SAを選択。
- ⇒ 経路上の危険箇所等を示した注意喚起パンフレットを配布。
(レンタカー貸し出し時に加え、外国人の立寄りの多い山田SAと玖珠SAに設置。)

【外国人レンタカー利用者の大分自動車道における立寄り地】

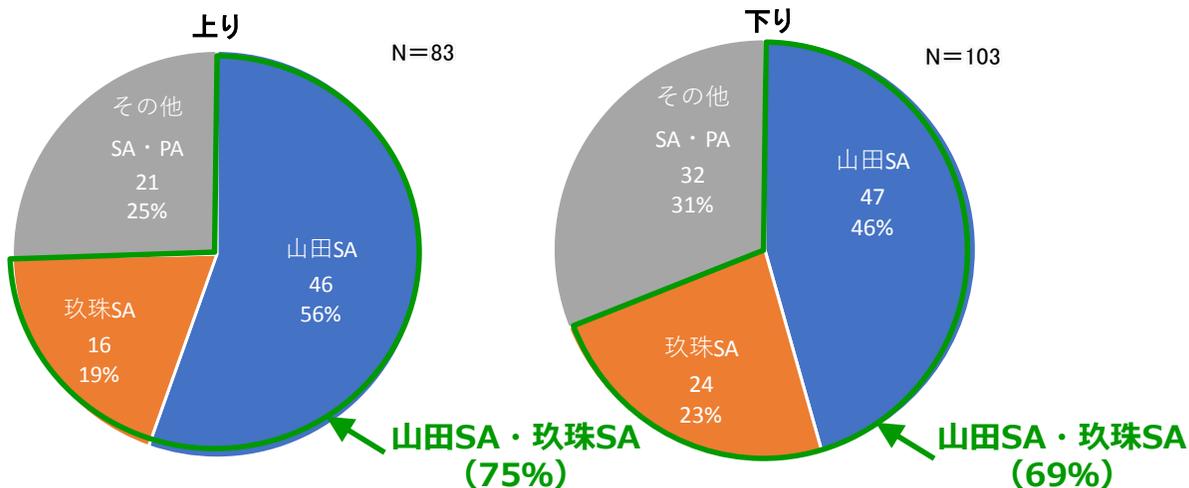


※この地図は、国土地理院地図を加工して作成

【休憩施設を活用した注意喚起情報提供イメージ】



【大分自動車道における立寄り地割合】



【注意喚起パンフレット】

【お知らせ】 訪日外国人レンタカー利用者の皆様へ (1/2)

安全で楽しく日本の道路を走行するために、高速道路で注意して走行頂きたい事項、日本における標識について、お知らせします。安全運転をお願いします。

①急ブレーキ多発箇所：高速道路のSAなどの出入口
特に大分自動車道の玖珠SA(下り)の出入口では急ブレーキが多発しています。危険による交通事故の危険がありますので、注意して運転してください。
右側車線は十分減速してください

②急ブレーキ多発箇所：急カーブが連続する下り勾配区間
特に大分自動車道の日田IC～大瀬高塚IC(上り)は、急カーブが連続する長い下りの坂道区間で急ブレーキが多発しています。
危険による交通事故の危険がありますので、注意して運転してください。

③速度超過発生区間
大分自動車道の玖珠IC(上り)～玖珠IC(下り)は、速度超過が多発しています。走行の際は、標識に示された法定速度を超えて運転をしないでください。
標識から大分方面は法定速度80km/hで、右のような標識が確認できます。
●急ブレーキ発生ICまでは法定速度100km/hですが、速度を必ず標識は設置されておらず、法定速度100km/hを超えて運転しないようご注意ください。

【お知らせ】 訪日外国人レンタカー利用者の皆様へ (2/2)

日本の交通ルールと代表的な道路標識を以下に示します。安全運転に心がけ、楽しいドライブにしてください。

交通ルール・法定速度

通行	日本	韓国	台湾	香港	アメリカ
最高速度	最高100km/h	最高110km/h	最高100km/h	最高120km/h*	最高120km/h
制限速度(一般道)	最高60km/h	最高80km/h	最高70km/h	最高70km/h	最高72km/h

道路標識・法定速度

標識の種類	日本	韓国	台湾	香港	アメリカ
注意標識	黄色い三角	黄色い三角	黄色い三角	黄色い三角	黄色い三角
警告標識	黄色い三角	黄色い三角	黄色い三角	黄色い三角	黄色い三角
指示標識	青い方角	青い方角	青い方角	青い方角	青い方角
禁止標識	赤い方角	赤い方角	赤い方角	赤い方角	赤い方角
停止標識	赤い八角	赤い八角	赤い八角	赤い八角	赤い八角

外国人レンタカー利用者に対して、注意喚起パンフレットを配布しています。
社会実験実施機関、国土交通省 九州地方整備局 道路計画課 二課

- 急増する訪日外国人観光客のレンタカー利用による事故を防止するため、レンタカー事業者や警察、観光部局と連携しながら、ETC2.0の急ブレーキデータ等を活用して、外国人特有の事故危険箇所を特定し、ピンポイント事故対策を講じる。

ETC2.0等の急ブレーキデータ

※沖縄・九州で試行中

外国人特有の事故危険箇所の特定

レンタカー事業者の事故発生データ

ピンポイント事故対策

カラー舗装やピクトグラムを活用した標識

多言語注意看板



多言語パンフレット

事故の多い箇所を注意するパンフレットをレンタカー窓口で配布

外国人の出国が多い空港への最終アクセスにおけるレンタカー利用の状況

	外国人旅客数(人)		
		レンタカー利用(人)	利用割合
○ 那覇空港	1,041,760	218,589	21.0%
○ 福岡空港	1,391,364	62,051	4.5%
○ 関西国際空港	4,939,060	58,303	1.2%
○ 新千歳空港	910,772	41,921	4.6%
○ 成田国際空港	6,064,660	36,873	0.6%
○ 中部国際空港	932,902	28,416	3.0%
○ 羽田空港	2,481,639	21,407	0.9%
○ 静岡空港	146,656	2,968	2.0%
○ 広島空港	60,050	2,224	3.7%
○ 小松空港	63,897	1,077	1.7%

出典：国際航空旅客動態調査(航空局)における
年間外国人旅客数上位10空港を対象とする推計値



- ・外国人のレンタカー利用の多い
空港がある地域
- ・首都圏を除く地域

で先行的に実施

- ① 新千歳空港を中心とする地域 (北海道開発局)
- ② 中部国際空港を中心とする地域 (中部地方整備局)
- ③ 関西国際空港を中心とする地域 (近畿地方整備局)
- ④ 福岡空港を中心とする地域 (九州地方整備局)
- ⑤ 那覇空港を中心とする地域 (沖縄総合事務局)

九州大学 工学研究院附属アジア防災研究センター

加知 範康 助教

宮崎大学 社会環境システム工学科

嶋本 寛 准教授

熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター

円山 琢也 准教授

熊本大学 大学院社会環境工学科

溝上 章志 教授

九州地方整備局

企画部 情報通信技術調整官、情報通信技術課長

道路部 道路調査官、道路情報管理官、道路計画第一課長、
道路計画第二課長、道路管理課長、交通対策課長